

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者:NPO法人海の再生ネットワークよろん/池田香菜

連絡先: uminosaiseinetyoron@yahoo.co.jp/080-5075-3457

学習のねらい	<input type="checkbox"/> 海に親しむ	<input checked="" type="checkbox"/> 海を知る	<input type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
	「海のふしぎを知ろう」 与論島は海に囲まれた島で、身近な自然の1つに「海」があります。そもそも海ってどんなところか？海に関する「ふしぎ」について学び、海について理解を深めます。			
	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input checked="" type="checkbox"/> 感動	<input checked="" type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象: 小学3年生～	時期: 通年	場所: 室内	時間: 45分(1コマ)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶 ●海とはどのようなところか、ワークシートへ記入し発表(10分) ●「海のふしぎ」の話(25分) <ul style="list-style-type: none"> ・海の水はどこからくるか(循環) ・海の深さ ・海の水の塩辛さ ・海の色は何色か ・波はどのようにできるのか <p>対話やクイズを交えながら、進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ワークシートへ「海のふしぎ」をまとめ、発表(10分) ●担任の先生の挨拶・まとめ(5分) 			
備品	<p>持ち込み: スライドデータ、(なければパソコン)、海水の入ったボトル、サイコロ、霧吹き、ワークシート</p> <p>準備: バasketボール</p>			
その他	<p>学年に合わせて、それぞれの話をかみ砕いて話す。理科の授業の要素が強いが、概念的なところで説明していく。要所要所、一般的な海と与論の海を比較して説明する。</p>			